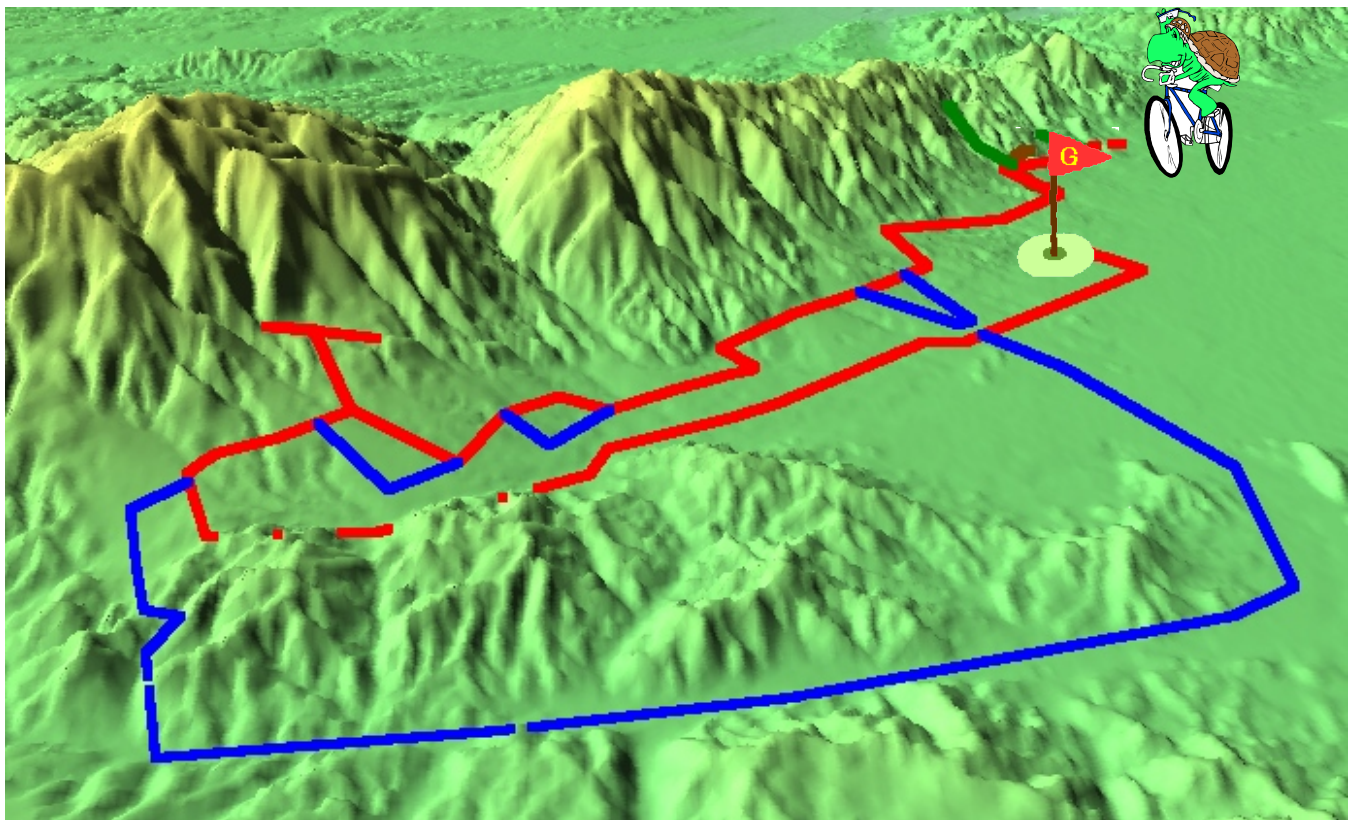


# 葛城山麓 亀ポタ ガイド

當麻、葛城古道から巨勢の道  
のんびりと自転車で巡って見れば  
普段とは違う景色に出会えるかも...



本書で使用した地図は 昭文社 Super Mapple Digital 3 から引用しました。  
合併などで市町村名が変更や、道路の新設など内容と異なる場合があります。  
そのため常に最新の地図などで確認いただき、相違があった場合は現状を優先頂  
けるようお願いします。

表、裏表紙の俯瞰図はカシミール3Dを用いて作成しました。

表: 吉野川上空より葛城、金剛を望む

裏: 金剛山上空より葛城山麓を見下ろす

## はじめに

奈良と大阪の県境に位置する大和葛城山、金剛山。その東側の山麓には竹内街道、葛城の道、葛城古道、少し東へ足を運べば巨勢の道などがあります。

巨勢の道からさらに東に進むとそこには有名な明日香村もあります。明日香村には数多くの史跡があり、一年を通して多くの人を訪れています。レンタサイクルも整備され自転車で楽しんでいる人も多く見られます。

しかし葛城山麓は交通の便などが今ひとつ整っておらずハイカーも春秋の季節以外はどちらかといえば少ない方だと言えるでしょう。ましてや自転車で巡る人は言うまでもありません。

『輪童の自転車散歩』では御所を基点に幾度か亀ポタと称して自転車で遊んできましたが、できるだけ車を避けて、あぜ道みたいなところを通ったり、裏道に入ったりするために同行の方から『何度走ってもコースが分からん！』との指摘を度々受けてきました。

春は桜に新緑、夏は緑の田、秋は彼岸花、コスモス、黄金色の田それに紅葉、冬は雪景色と四季折々の景色。葛城山麓の私の好きな風景を皆さんにも存分に楽しんで貰えたらとの思いから今回このガイドブック(と呼べるかな)を書き綴って見ました。

なにぶん自分の都合を中心に書いていますので分かり難いところも多いかと思いますが、少しでも皆さんの参考になれば幸いです。

2005年7月





# \*\*\* 目次 \*\*\*

コース概要.....	1
基点 1：當麻寺からスタート.....	2
弥宮池へ.....	3
ラッテたかまつへ.....	5
六地藏、葛城古道へ.....	6
駒形大重神社、九品寺、檜原.....	7
一言主神社へ.....	8
片上醤油、葛城古道茶屋むすひ、梅本とうふ.....	9
南郷へ.....	10
南郷への別ルート.....	11
高天へ向けて.....	12
高天へ向けて その2.....	13
高天彦神社、橋本院、高天沢不動滝.....	14
高鴨神社、風調庵.....	15
風の森峠から船宿寺へ.....	16
屋敷山公園駐車場へ.....	20
基点 2：屋敷山公園スタート、ラッテたかまつへ.....	21
基点 3：カントリーロードスタート、笛吹神社、ラッテたかまつへ.....	22
オプション：木村食品工業コース.....	23
オプション：東佐味、吉野口 巨勢の道から今住の町並み.....	24
薬水付近.....	25
巨勢の道.....	27
今住.....	29
吉祥草寺へ.....	30
御所の街並み.....	31
オプション：當麻周辺.....	32
オプション：伏越コース.....	33
モデルコース.....	34
當麻スタート.....	34
カントリーロードから食い気三昧.....	35
東佐味お気楽コース.....	36
関連情報.....	37



# コース概要


コースは当麻寺から高鴨神社までの間について掲載しています。全体像は以下の地図に示しています。メインとなるコースは赤線で支線となるコースは青線、おまけコースは緑で示しています。

メインルートは当麻寺を基点とし、終点としては屋敷山公園駐車場としていることをご了承ください。後ろの方に屋敷山公園、カントリーロードからラッテたかまつへのコースガイドを掲載しています。

また本書はあくまで **コースガイドを目的** としたものであり、**観光ガイドではない** ことをあらかじめお断りしておきます。

従いまして紹介している名所旧跡などに関してはそれぞれお調べ頂けるようお願いいたします。

このガイドの見方ですが...

- 地図は北を上統一してあります。そのためコースの進行方向が上から下へ向かうページと、下から上に向かうページの2種類あります。地図上には進行方向を示す矢印を書き入れてありますので確認してください。
- 説明用の写真は必ずしも進行方向を向いて撮影していませんのでご注意ください。一部の写真には地図上に記入した進行方向に合わせた矢印を書き入れてありますので参考にしてください。また矢印はコースの色に合わせてあります。
-  は上り方向を示しています。矢印の先のほうが高い方を示しています。
- 地図の縮尺は3種類あります。A5サイズで印刷した場合、おおよそ1:9,400、1:13,200、1:17,600(伏越コース)となります。比較するときは必ず距離表示を参考にしてください。
- 地図は原則次のページにつながります。地図上には繋がりが分かるように4色のマークを入れてあります。1ページに2枚の地図がある場合、ページ内の繋がりには一回り小さなマークを入れてあります。



それでは亀ポタをお楽しみください



# 基点 1：當麻寺からスタート

當麻寺山門前を少し下るとそば処「稜」があります。そこを右手に入ります。家並みを抜けると登りが始まります。瓦堂池のそばの竹之内古墳群の脇を通り抜けると国道 166 号に出ます。166 号を少し登ったところから左手に細い路地がありますので、そこを登り民家の間を抜けると旧竹内街道に出ます。

旧竹内街道を少し下ると右手に綿弓塚への道があります。



**START**

中之坊庭園  
記念仏院  
北葛城郡 当麻町

そば処「稜」  
昼食は 11:30 から  
売り切れまで

瓦堂池  
史跡の丘総合解説板  
竹之内古墳群  
竹ノ内橋  
綿弓塚  
西光寺  
竹内ふれあい広場  
当麻イトーピア  
当麻集会所

早くも登り

自販機のところで左の細い道へ入ります

ここを右折して次を左折

0 500m

(C)2002 Shobuns Publications, Inc. All rights reserved.



# 弥宮池へ

イトーピアの住宅地は東側を通った方が楽なコースですが、西側(青線のコース)には枝垂桜の公園があり、普通の桜が散ったところでもまだまだ咲いているので春にはお勧めです。

**当麻イトーピアの枝垂れ桜**  
住宅地はずれの公園。  
基本的には住民の方の桜です  
から迷惑にならないようにね。

カーブミラーで左折

細い道へ進みます

墓のところで右折

側道を下り、橋を渡ります

橋を渡ったら左折、  
右の道へ入ります

ここは逆走になります。  
十分注意してください。

側道は一方通行です

この右手の斜面には  
桜があります

突き当りを右折、  
登りが待っています

カーブミラーで左折  
反対側へ移動

堤防からは奈良盆地  
が一望できます

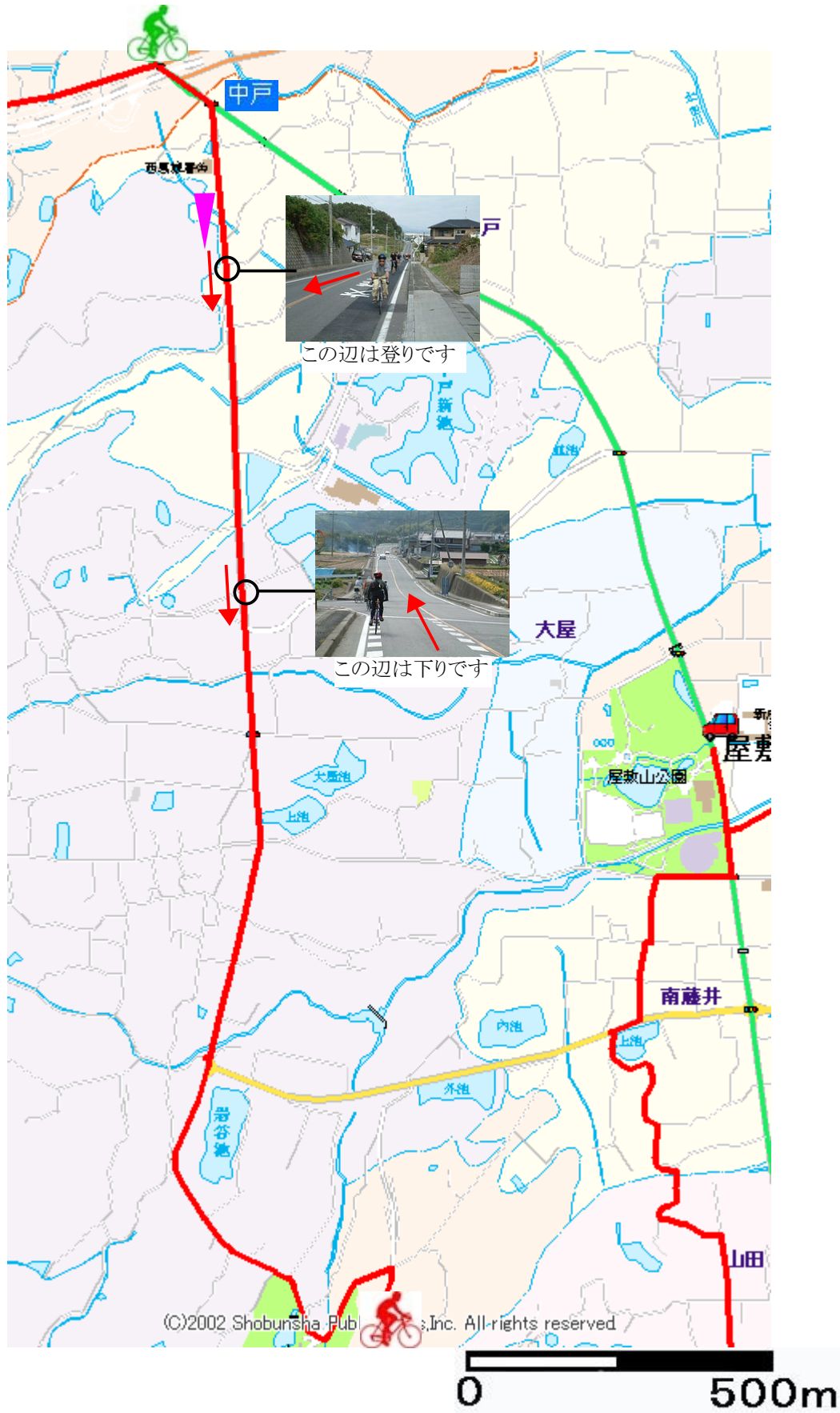
秋にはスキの道が待  
ち受けています

八重桜の道

0 500m

弥宮池に出るには南阪奈道路越えなければなりません。側道は一方通行で南側はわずかな距離ですが逆走することになります。めったに車は通りませんが十分注意してください。

中戸の信号で県道30号から県道254号に入ります。この道はアップダウンはあるものの路面状態もよく、交通量も比較的少ないので走りやすい道です。

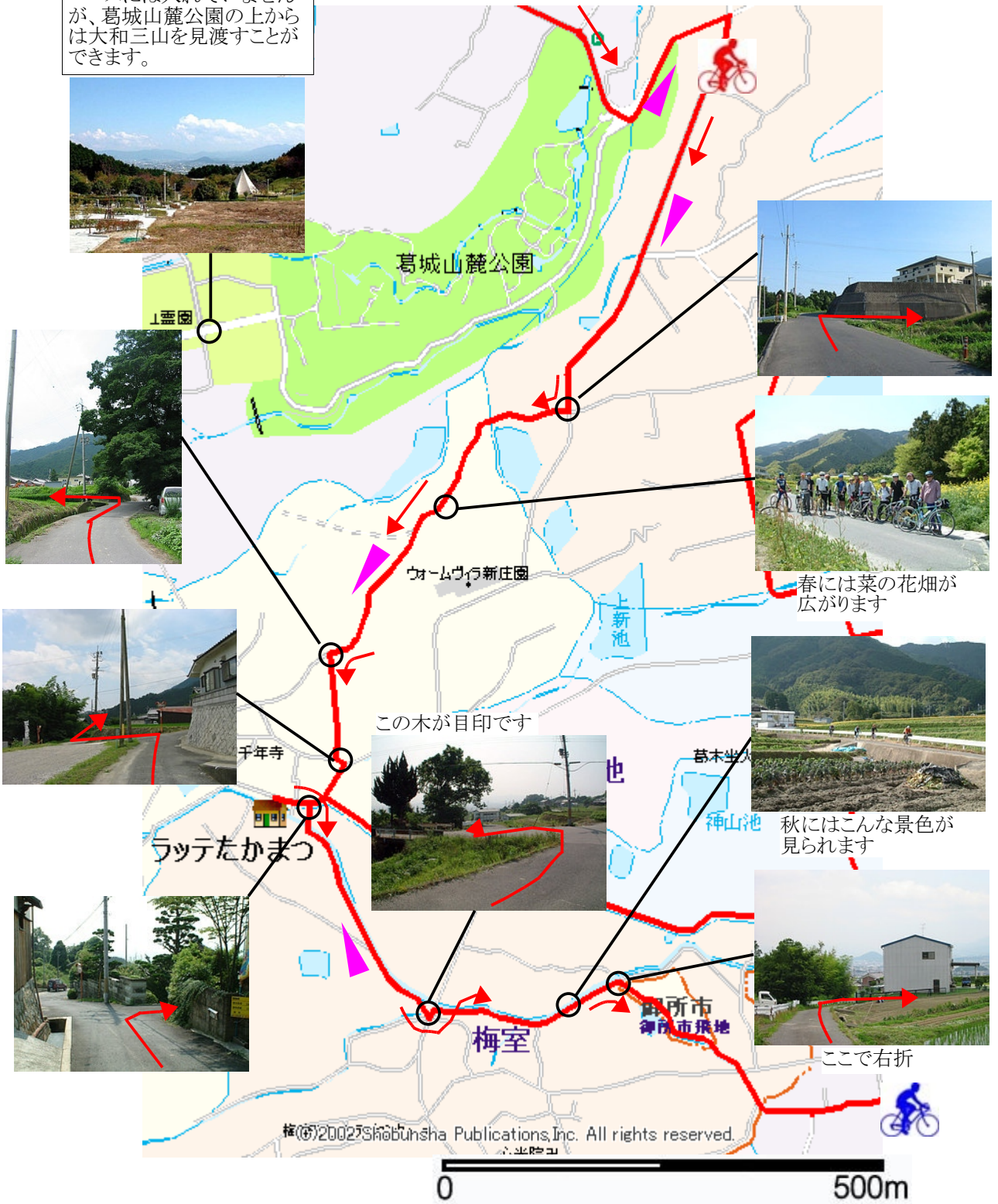




# ラッテたかまつへ

葛城山麓公園の入口付近から登りが続きます。ウォームヴィラ新庄園の裏手の道は春には一面の菜の花畑になります。ここを登ればもうすぐラッテたかまつです。

コースには入れていませんが、葛城山麓公園の上からは大和三山を見渡すことができます。



## ラッテたかまつ

新鮮なミルクを使ったアイスクリームが美味しい。また自家製チーズを使ったチーズお好み焼きはボリュームもあります。



## 六地藏、葛城古道へ

ラッテたかまつから下ってくると小林の住宅地へと入ってきます。途中急な下り坂の先で右折の部分がありますのでスピードは十分落としてくださいそのまま南へ進むと六地藏への道、左折すると木村食品工業への寄り道コースへの分岐があります。ここでは六地藏へのコースを進みます。





# 駒形大重神社、九品寺、榎原

駒形大重神社への分岐点から九品寺へは田んぼのあぜを歩いていきます。



駒形大重神社と無事蛙



右は駒形大重神社へ



あぜ道を進みます



山門を下って右折



番水の時計  
稲作の季節になると水を公平に分配するための時計が中に入ります。



九品寺春秋



左は千体石仏



緑点線へ進むと県道30号線に出ます



榎原の東屋



秋にはこの辺り一面にコスモスが咲きます



ここの山の芋は安くて旨い

©2002 Shobunsha Publications, Inc. All rights reserved.

0 500m



## 一言主神社へ

コースは葛城古道に沿った田んぼのあぜ道を進むコースと、東に下って参道の入り口へ抜けるコース(青線)があります。

あぜ道コースは田んぼに水が入ってから刈入れが終わるころまではぬかるんでいるので参道へ抜けるコースから上り返すのも一手です。

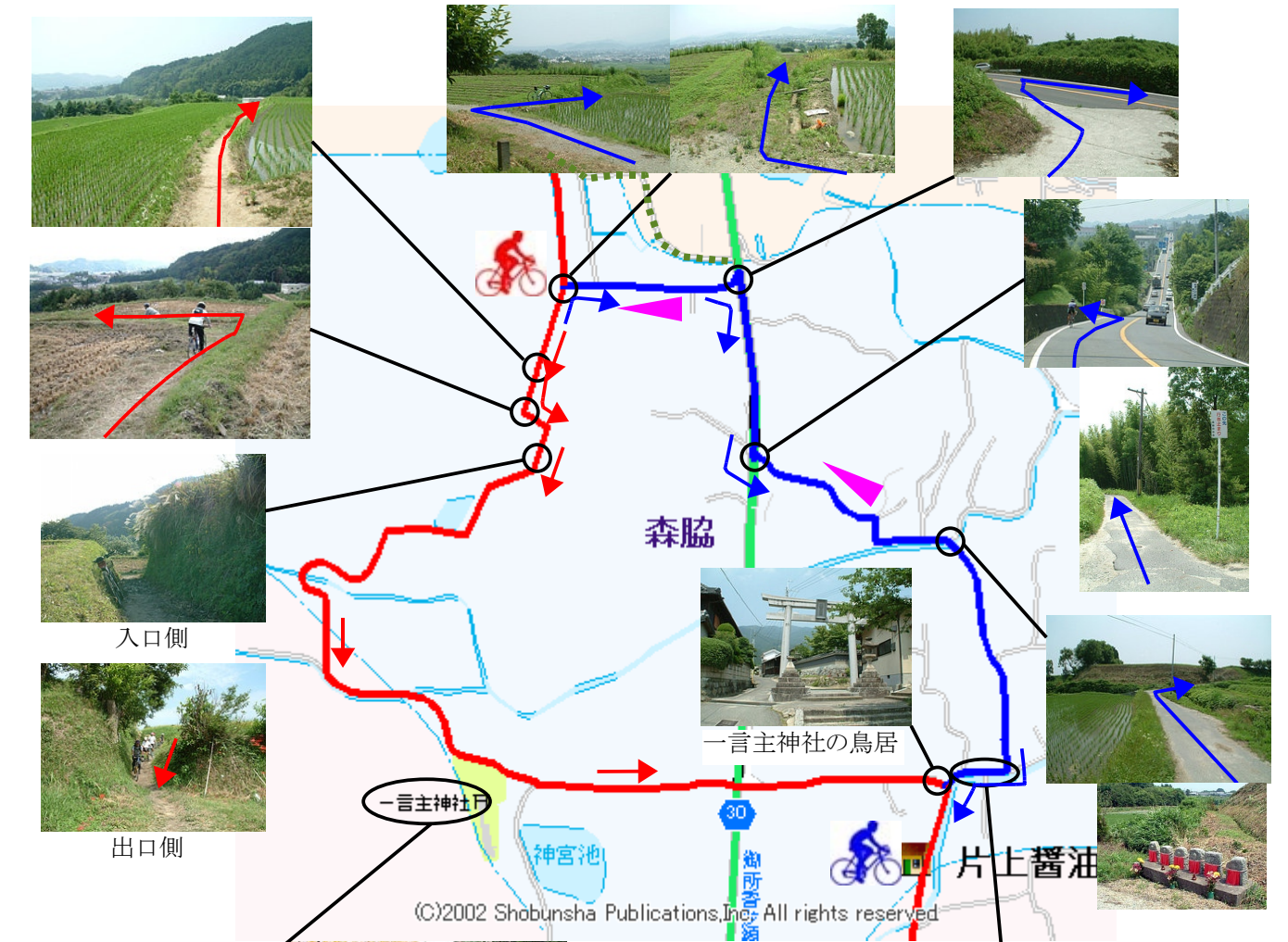
東屋から南へ木立を抜けあぜ道へ進みます。道が細く曲がりくねってますので注意してください。季節によっては最後に泥濘があります。(写真の入口側と出口側の部分) ここを抜けるともう大丈夫です。

一言主神社から東へ県道30号の下をくぐり民家を抜けると鳥居が見えてきます。突き当りを右折します。

青線コースへの入り口は東屋から少しもどった所に細い道があります。ここを降りていくとコンクリート舗装に変り、県道30号線へと出ます。(前ページの地図の緑点線で出る方が楽かも)

県道は交通量が多いので注意して横断してください。南に下っていくと左手に小道があります。この先行き止まりとなっていますが自転車は大丈夫です。

ちょっと急坂を下ると田んぼの広がる道へと出ます。お地蔵さんの所を右に進み民家を抜けた突き当りを右折すると一言主神社の鳥居があります。



秋の一言主神社  
大銀杏が見事です



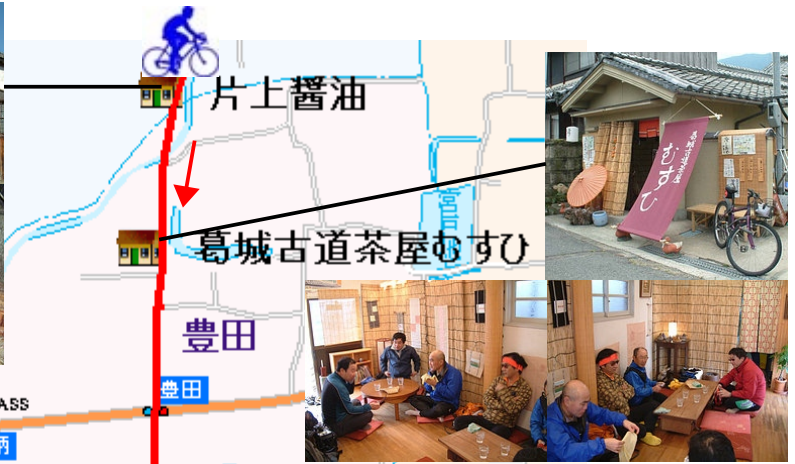
# 片上醤油、葛城古道茶屋むすひ、梅本とうふ

この区間は楽しみが多いコースです(たぶん)。まずは片上醤油。この前を通ると醤油のいい香りがするんです。続いて葛城古道茶屋むすひ。こちらは葛城古道で数少ないお食事処です。烏骨鶏しょうゆめし弁当は予約すれば配達もしてくれますので橈原で食べることもできますよ。

名柄神社前を過ぎ中村邸を過ぎたところを右折してぐるっと回ると梅本とうふがあります。こちらでは試食もできます。ただし豆腐、油揚げは予約しないと入手困難です。



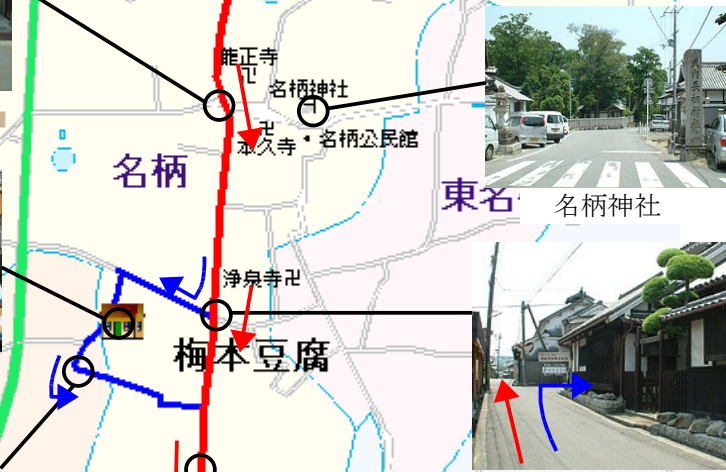
**片上醤油**  
春秋の頃は直販していることもあります。事前に連絡すると工場内の見学もできるそうです。



**葛城古道茶屋むすひ**  
土日祝のみ営業なので要注意！地元のお米と水を使ったメニューがあります。自家飼育の烏骨鶏を使ったしょうゆめし弁当もあります。



**梅本とうふ**  
右は試食コーナー？の様子



駐車場の奥を左に曲がります



古い家屋が並ぶ

中村邸  
梅本とうふへはこの先を右折

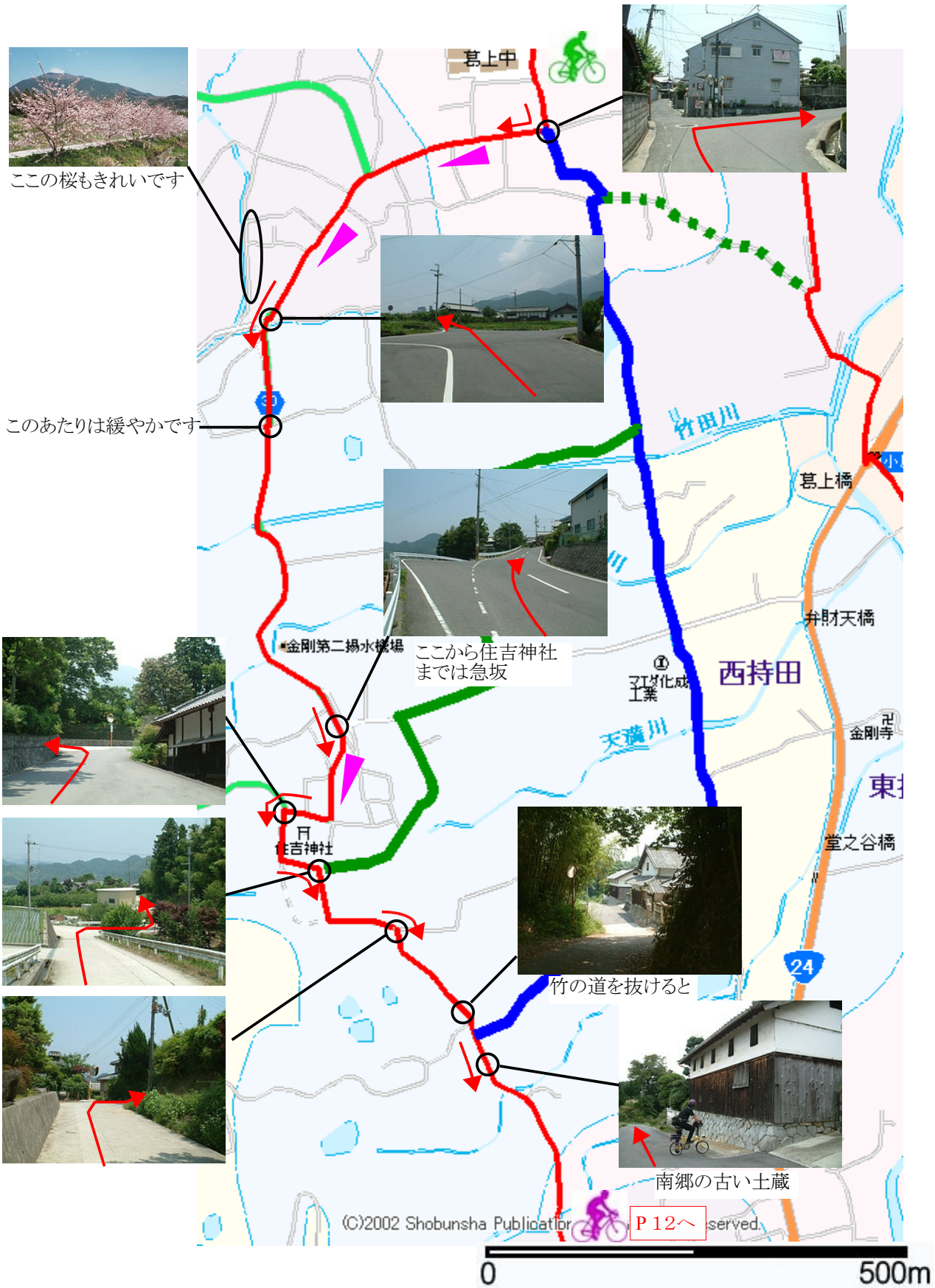


P10 または P11 ~



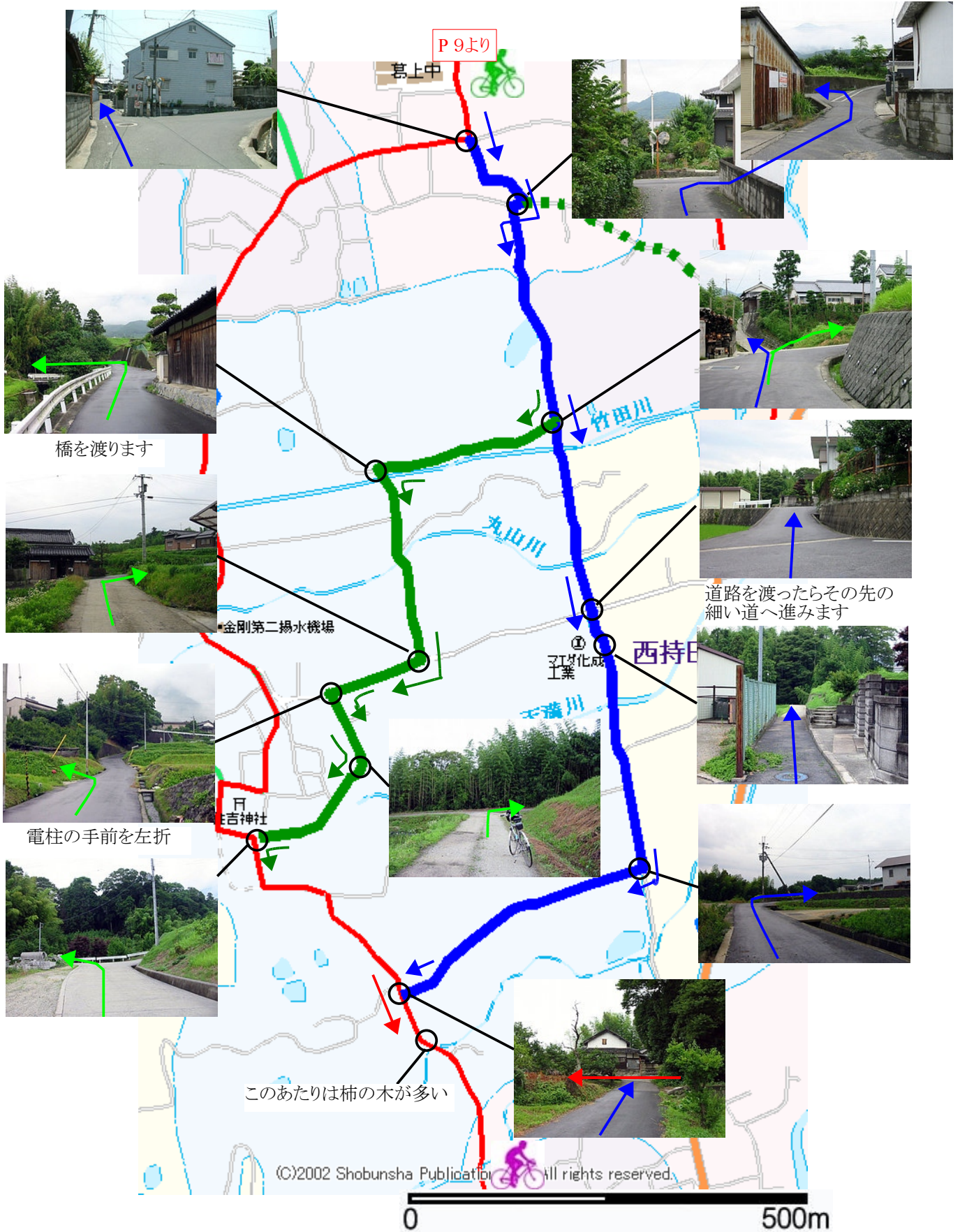
# 南郷へ

ここからは登りが多くなってきます。葛上中学校を過ぎて右折すると登りになります。住吉神社からまっすぐ県道30号へ出て、高天へ向かうのが最短距離なのですが坂と交通量の多さからあまりお勧めしません。南郷から回り込むほうが面白いと思います。



# 南郷への別ルート

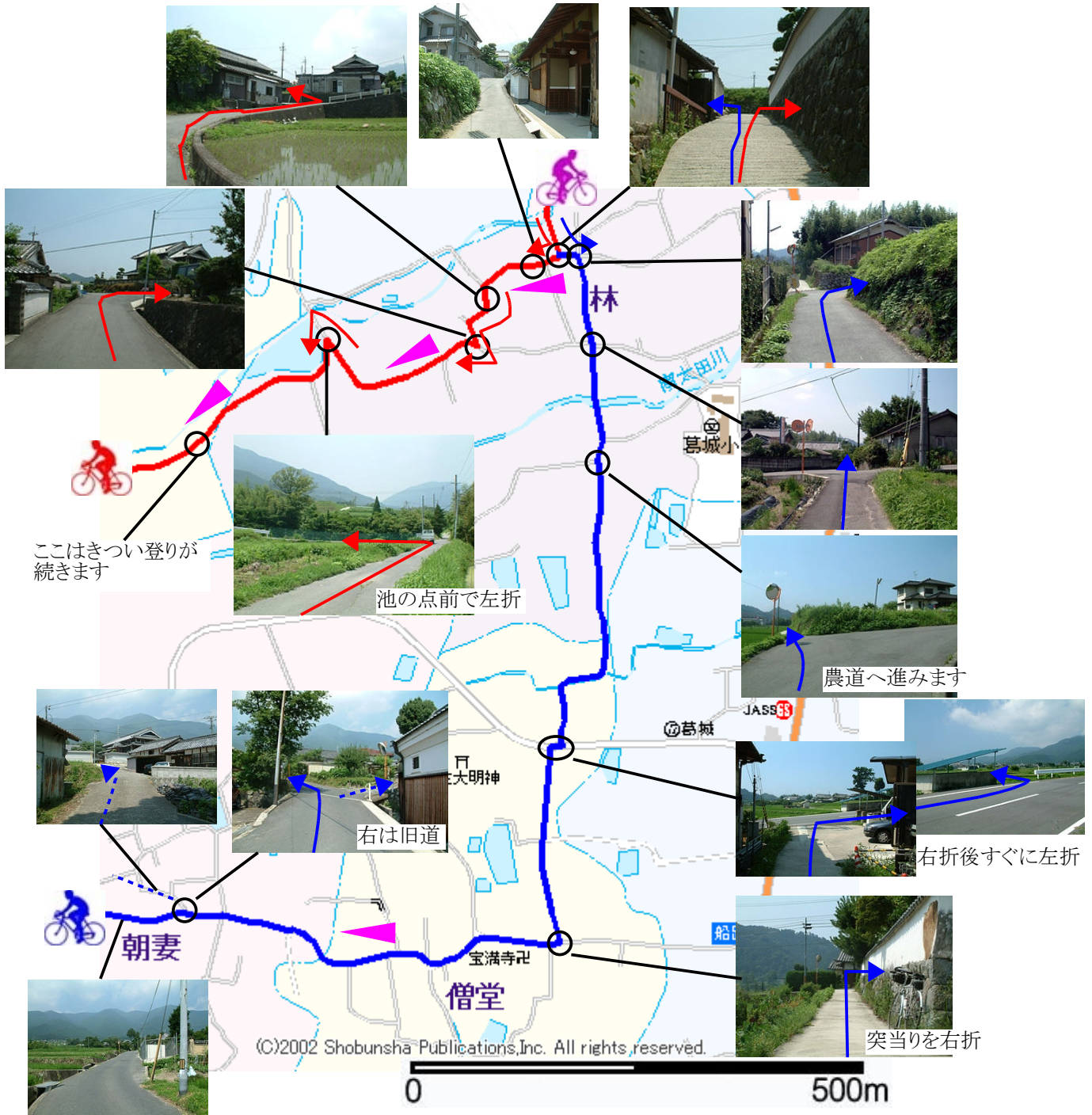
南郷へ出るには住吉神社経由のルート以外にもあります。南へ伸びる道はアップダウンも少なく比較的楽ですが西へ向かう道は登りです。緑線のコースのほうが登りが分かれている分、楽だと思います。





# 高天へ向けて

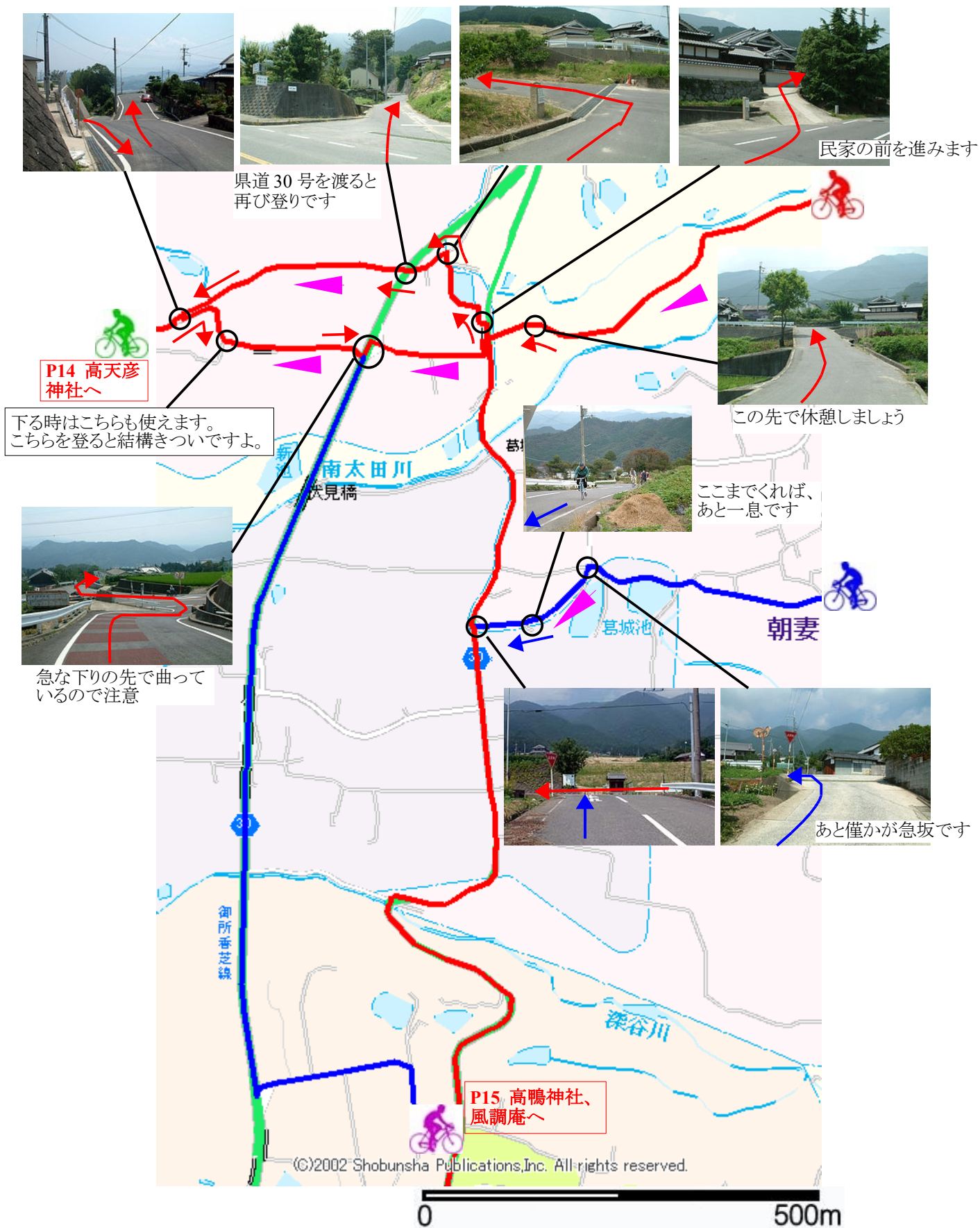
このページの区間は登りです。それも結構きついです。  
 赤線コースは田んぼの間を上ります。振り返ると東側の山並みが見られます。(天气が良ければね)  
 青線コースは僧堂から朝妻までは古い街並みを登っていきますが坂はこちらの方が楽かもしれません。



朝妻の旧道へ入ると朽ちかけた土塀などもある古い民家の中を通ります。路面の状態はコンクリート舗装で表面は結構でこぼこしてるので新道を選んでいきます。お好みで選んでください。

## 高天へ向けて その2

高天へはまだまだ登りが続きます。ここでいったん休憩しましょう。  
 県道を渡るときは車に十分注意してください。





## 高天彦神社、橋本院、高天沢不動滝

県道から登ってくるとハイキングコースと車道の分岐点があります。ハイキングコースを進むと木立の中を抜けたところに高天彦神社の杉並木がどーんと現れるのですが、階段が多く乗車不可なのでお勧めはしません。どうしても行きたい方だけどうぞ。

またこの区間は距離は短いですが登りがきついのでこの分岐点付近で休憩をお勧めします。天気の良い日は東側の展望も開けます。



### 高天彦神社、橋本院

この辺りまで登ってくると夏でも涼しくなります。橋本院の手前は高天原とも言われているそうです。橋本院は花の寺でもあり、梅、桜、ポタン、アヤメ、アジサイ、寒緋桜、三桮(みつまた)、蓮などが咲きます。

### 高天沢不動滝

高天彦神社から歩いて7分程度登ったところにあります。昔、金剛山に郵便物を運んだ郵便道の途中にあります。冷たい水が登山客の喉を潤します。



## 高鴨神社、風調庵

高天から降りてきたら次は風調庵で休憩です。こちらは和風小物の店ですが喫茶もできます。注意しなければならないのは庵主さんの気まぐれで休みが多いんです(^\_^;)。行かれる前に電話で確認したほうが無難かも知れません。

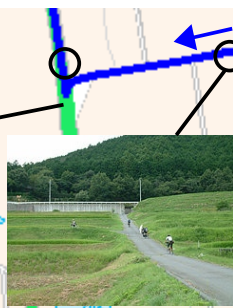
高鴨神社ではさくら草が保存されておりゴールデンウィークにはきれいな花が展示されています。

展望クライムコースですが... 赤線コースで来た場合通ることはないでしょうが、県道30号に出たところの景色はお勧めします。

**展望クライムコース**  
風調庵側からは田んぼの中を登る急な坂道です。でも、登りきって県道に出ると東側に展望が開けます。



P13 下より



**高鴨神社**  
さくら草はゴールデンウィークの頃に展示されています。



**風調庵**  
葛城古道ハイキングコースの最南端にある和風小物の店ですが、コーヒーやハーブティーなどもあります。誰もいない時は店先のドラを鳴らしてください。

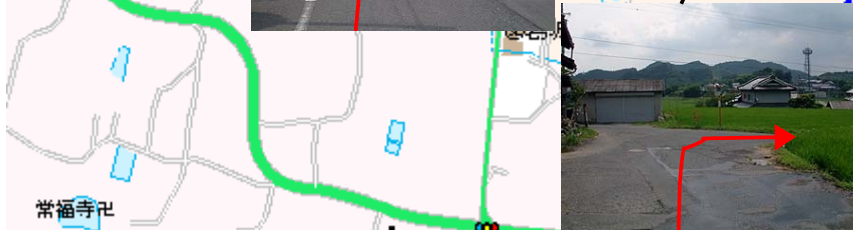


青線のコースは民家の間を抜けるややこしい道ですのであまりお勧めはしません。だったら書くなって(^^)



P 24 東佐味へ

P16 へ

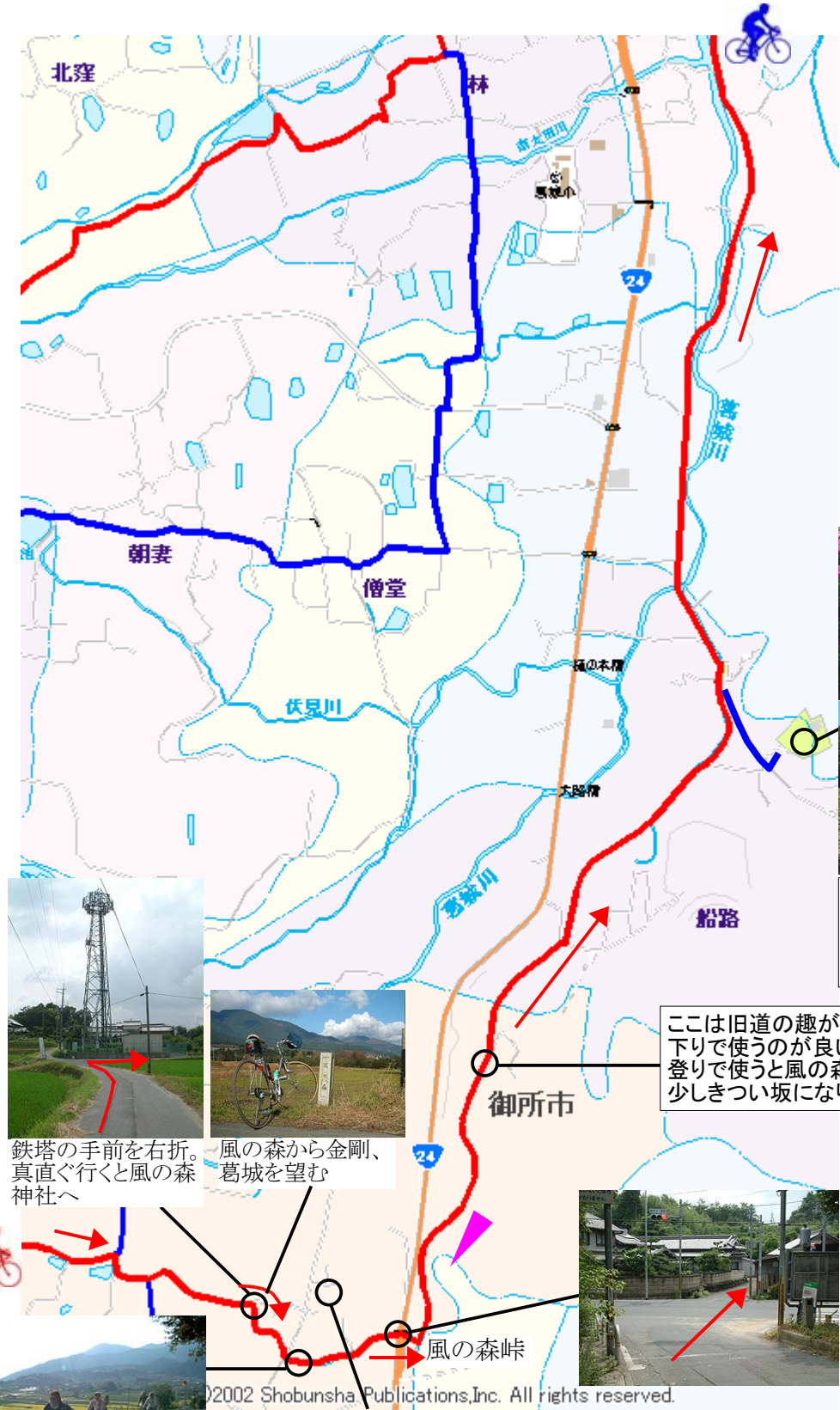


©2002 Shobunsha Publications, Inc. All rights reserved.

0 500m

# 風の森峠から船宿寺へ

高鴨神社から風の森峠への道は金剛、葛城の展望や西佐見の風景がお勧めです。風の森峠からは国道 24 号を下ることもできますが路肩が狭く交通量が多いので東側の旧道を下ることをお勧めします。最近路面の舗装も進み走りやすくなりました。途中の船宿寺はつつじ、ボタンで有名ですが春先の桜の頃もきれいです。



**船宿寺**  
つつじで有名ですがボタン、その前の梅、桜の頃も綺麗です。

ここは旧道の趣が残っている道。下りで使うのが良いでしょう。登りで使うと風の森峠の手前が少しきつい坂になります。



鉄塔の手前を右折。真直ぐ行くと風の森神社へ



風の森から金剛、葛城を望む



風の森峠

©2002 Shobunsha Publications, Inc. All rights reserved.



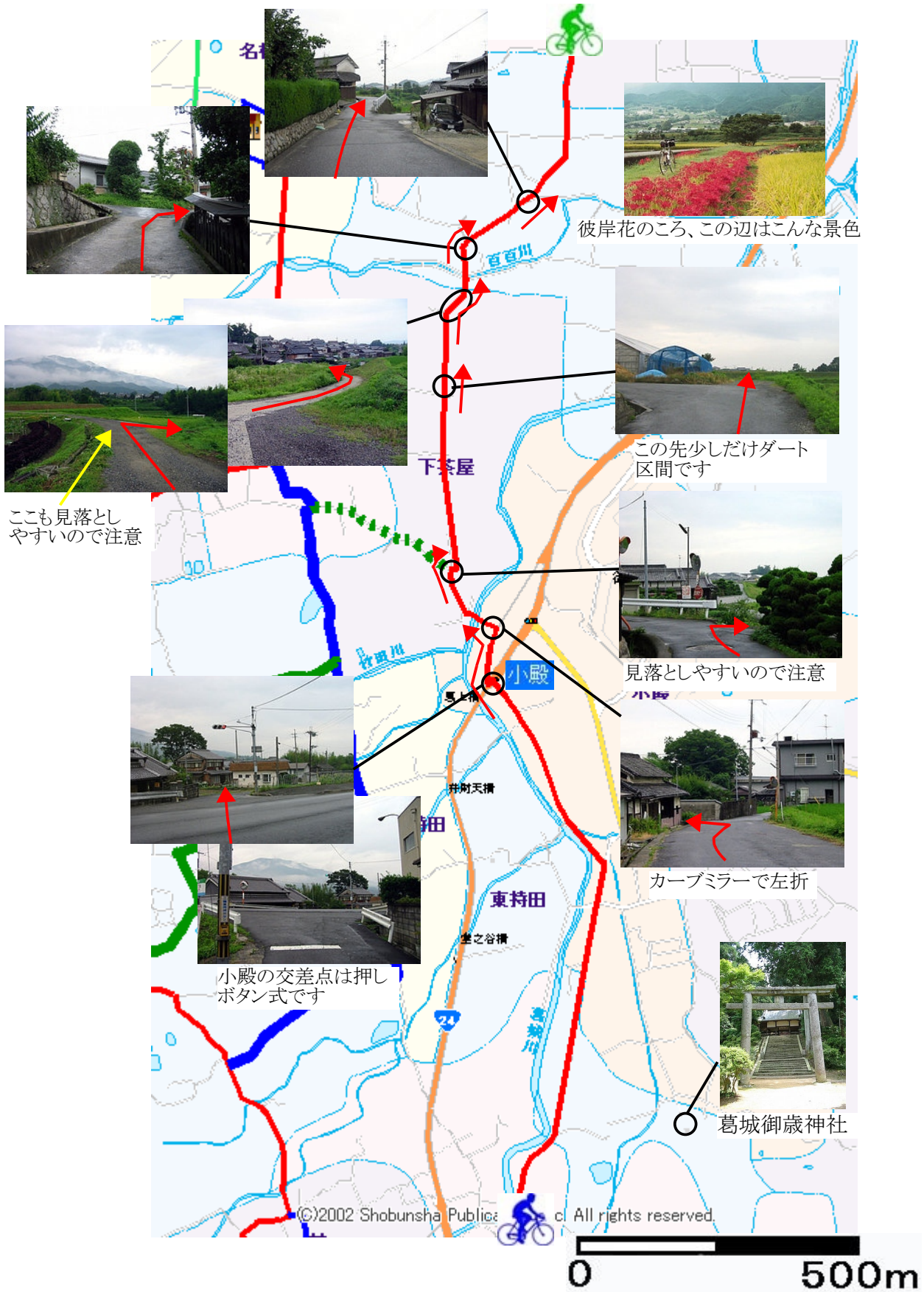
秋には黄金色の景色が広がります



風の森神社



小殿の信号を渡ると、この先は曲がる場所が分かりにくいので注意してください。  
 信号を渡りカーブミラーのところまで左折、道なりに進んでいくと右手に下る小道がありますのでそこを入ります。  
 ここからは田んぼを見ながら歩くことができます。秋はお勧めかもしれませんね。  
 途中一部未舗装路になりますが締まっているので心配はないでしょう。未舗装区間を進むとまたしても右手に  
 下る道があります。これから先は民家のあいだを走っていきます。

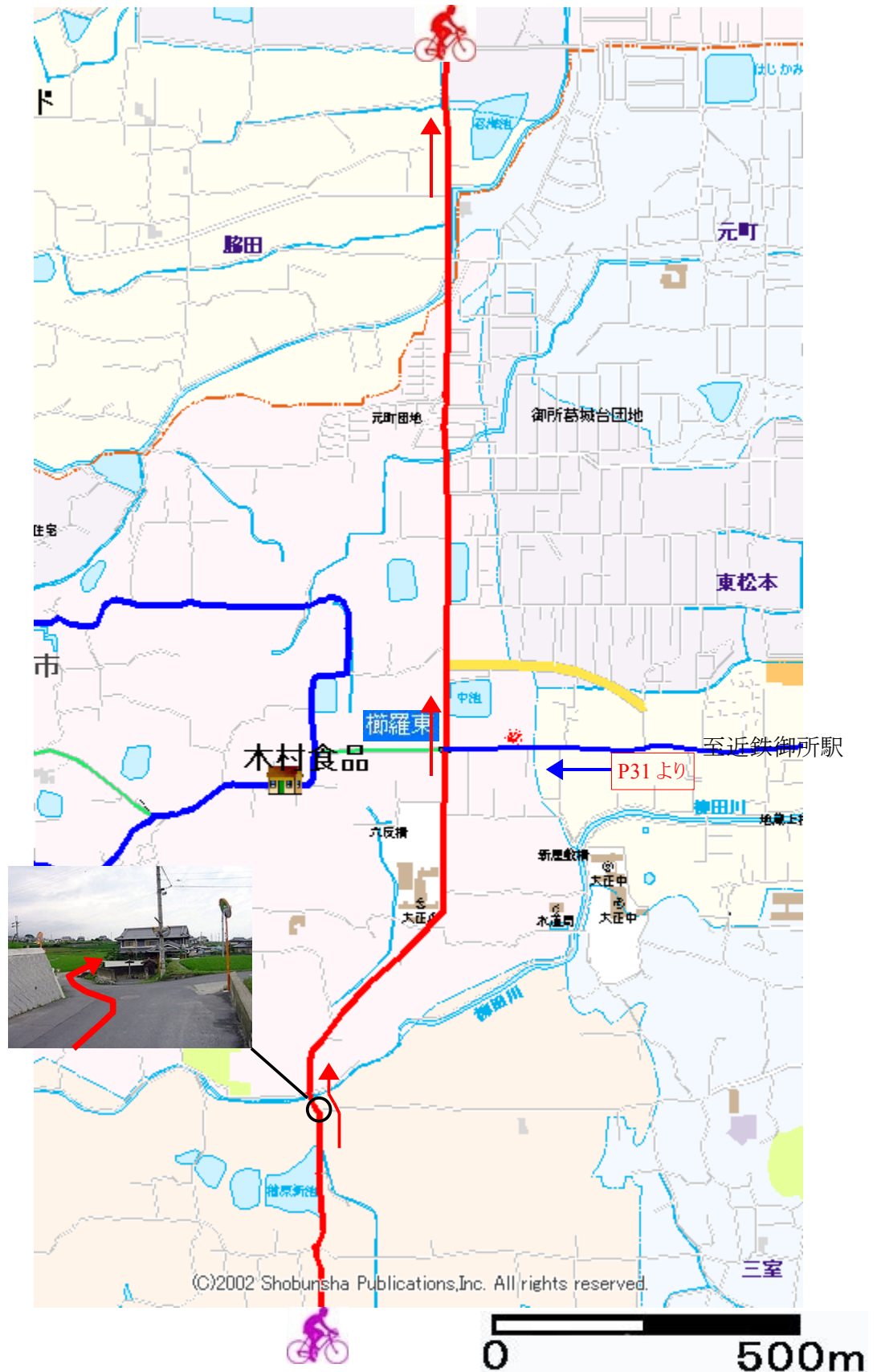


田村薬品のところで2度曲がったら後は道に沿って進むと思っていいですが、多少の曲がりや面白そうな道が随所に見られますので要注意です。まあ、脇道に逸れるのも亀ポタですからね。

御所市内には何箇所か地蔵さんの並ぶところがあります。この区間には2箇所ありますので時間があれば探してみたいかがですか？



この辺までくると長閑な景色も徐々に変わってきます。近鉄御所駅への交差点(櫛羅東)を過ぎると住宅地も増えてきます。今朝通った葛城山麓を眺めながら行きましょう。  
木村食品工業も近いですので午後のおやつはいかがですか。





## 屋敷山公園駐車場へ

いよいよ ポタも終わりです。駐車場まであと一息。  
お酒のディスカウントショップ エポックでは新庄の梅の宿酒造のお酒も買えます。お土産にいかがですか。



## 基点 2：屋敷山公園スタート、ラッテたかまつへ

このコースは屋敷山公園駐車場に車を停めておくことができます。

**START** 屋敷山公園駐車場

屋敷山公園  
中央公民館・  
町民体育館・  
健民グラウンド

天屋池  
博西神

右折、すぐ左折

駐車場で左折  
金村神社

信号を右折

夏になるとホテイアオイが一面に咲きます。2005年はなくなっていました。

池の向こうで左折  
外池

このあたりの秋の風景

奥へ下ります

登ったところで左折

青線ルートでもラッテたかまつへ行けますが、結構登りはきついです。

平岡

山田  
三神社  
法城寺

山田集会所  
新庄ゴルフセンター

道祖神

0 500m

P22へ

(C)2002 Shobunsha Publica



### 基点 3 : カントリーロードスタート、笛吹神社、ラッテたかまつへ

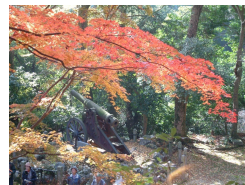
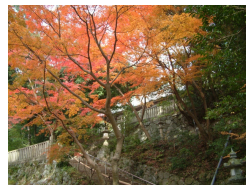
このコースは駐車場が近くにありませんので屋敷山公園駐車場を利用することになります。

カントリーロードは朝 7:00 から営業しています。数多い種類のパンがあり、選ぶのに迷ってしまいます。店内のイトイン・コーナーで焼き立てパンを食べられるのはもちろん、おにぎりにお弁当もあります。朝食も昼食もここで用意できます。



立て看板とある日の朝食

屋敷山公園から来た場合、極楽寺のところからラッテたかまつ方面へ登ることもできます。(緑点線)  
ラッテに行くだけならこちらの方が楽でしょうけど秋の笛吹神社も訪れてみてください。



笛吹神社の紅葉



ラッテたかまつへの立て札が目印  
登りはきついけどアイスクリームが待ってます (^\_^)



# オプション：木村食品工業コース

木村食品工業へのコースははっきり言って遠回りです(^^ゞ。  
でも、秋には黄金色の景色を見ながら走るのは気持ち良いですよ。(その分登り返すことになるんですけど)

木村食品工業は道路の看板を見ただけでは分からないお店です。中を覗いてもやっぱり分かりにくいです。  
勇気を出して入ってみてください。パック入りの丁稚ようかんとわらびもちがあります。また店内ではお茶付のメニューもあります。

市宮小林住宅

秋の風景

木村食品

浄土寺

鴨山神社

道の狭くなります

こんな道になります

交差点を越えたら右折

鴨山神社参道

©2002 Shobunsha Publications, Inc. All rights reserved.

店内では写真左の形で出てきます。  
写真中、右はパック入りです。  
クーラーバッグを持参して、榎原の東屋で一服は  
いかがですか？



# オプション：東佐味、吉野口 巨勢の道から今住の町並み

風の森峠から戻らずに東佐味から東へ回るコースです。



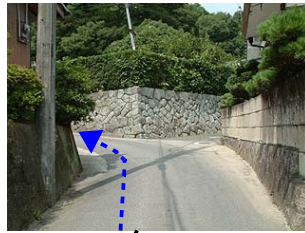


## 薬水付近

薬水の駅の南側に近鉄電車を通るレンガ造りの橋があります。なかなか面白いです。  
 薬水を過ぎたところに国指定史跡の水泥古墳(みどろこふん)があります。  
 いずれもお好きな方にはたまらないのではないのでしょうか？



西尾氏邸内に水泥北古墳  
があります



水泥南古墳

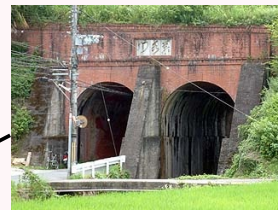
奉膳



吉野口方面の展望

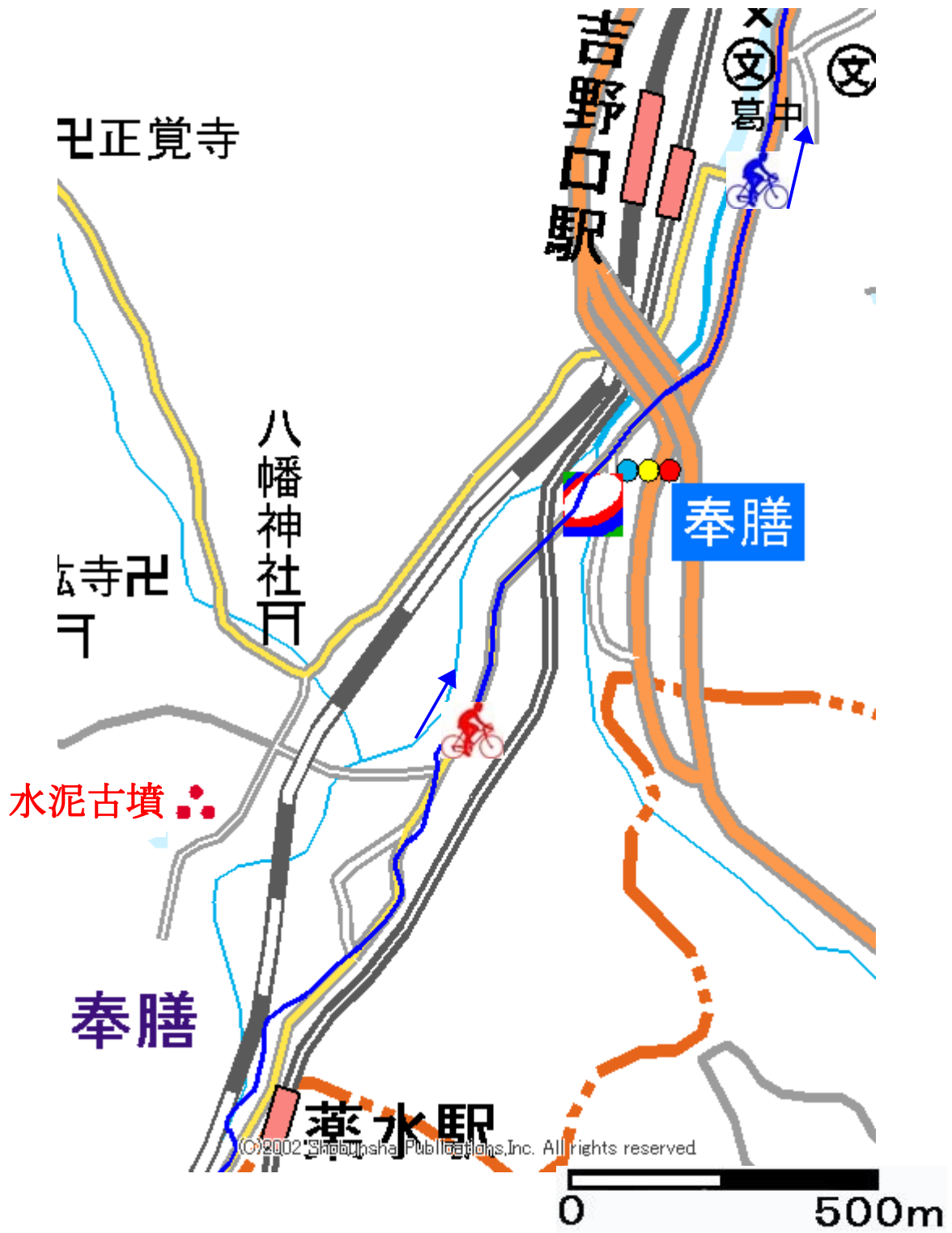


水泥古墳へ行くには左折



レンガ造りの橋  
上を近鉄電車が通っています





# 巨勢の道

巨勢の道は飛鳥から高取町を經由、御所市戸毛・古瀬から重坂峠を越えて吉野や和歌山県へ至る古道だそうです。P25 の水泥古墳と、このページでは2箇所紹介しておきます。

巨勢寺塔跡は JR と近鉄の間にあります。近鉄の高架を潜ったらすぐに左折、正面のダートへ入っていきます。青い表示板が出ているので分かると思います。

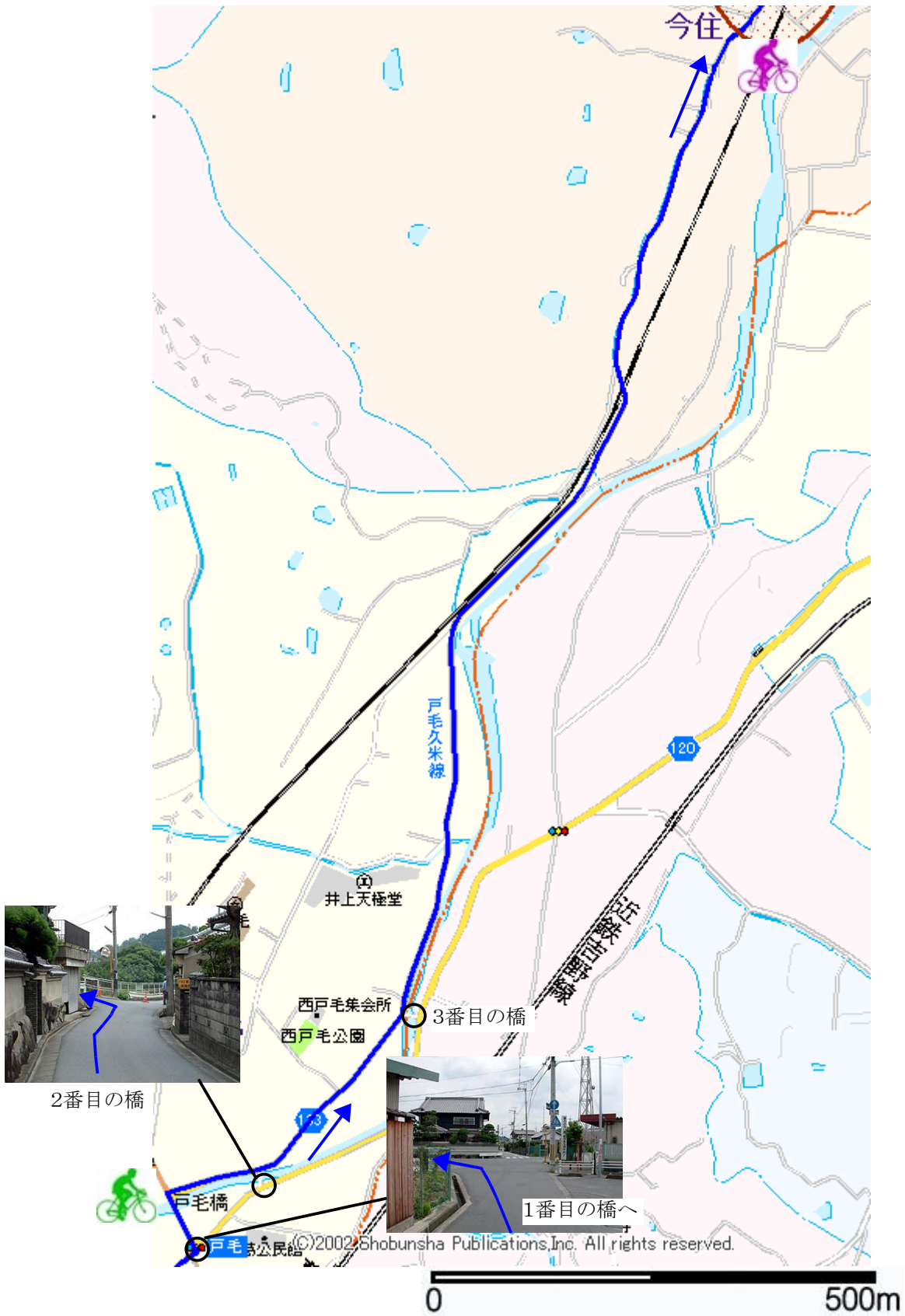
阿吽寺は R309 バイパス沿いにあります。道路わきから登っていきと境内につきます。

The map illustrates the Kise no Michi route, starting from the top right near the Kōmō Bridge (戸毛橋) and heading south. Key landmarks and directions are marked:

- 戸毛橋** (Kōmō Bridge)
- 西方寺** (Saiyōji Temple)
- 戸毛大乗寺** (Kōmō Daishōji Temple)
- 戸毛虎窟遊園** (Kōmō Kōkyū Yūen)
- 布宮戸毛東住宅** (Fumiyama Kōmō Higashi Residences)
- 和歌山線** (Wakayama Line)
- 日本医薬品** (Nippon Iyaku Hin)
- 天安川神社** (Tenan-gawa Shrine)
- 重信院** (Shūshin-in)
- 近鉄を潜ったら左折** (Turn left after crossing the Keisei line)
- 樋野公民館** (Hino Community Center)
- 古瀬中央公民館** (Kosei Chūō Hōmin Kan)
- 宮中** (Miyachū)
- 吉野口橋** (Yoshino-guchi Bridge)
- 吉野口駅** (Yoshino-guchi Station)
- 阿吽寺** (Aunji Temple)
- 阿吽寺の紅葉** (Autumn leaves at Aunji Temple)
- 巨勢寺塔跡** (Kiseji Temple Stupa Remains)
- 正面のダートへ進む** (Proceed to the front dirt road)
- ダートを進むと見えてきます** (You will see it as you proceed on the dirt road)
- 裏道へ進みます** (Proceed to the back road)

Scale: 0 to 500m. Copyright: ©2002 Shobunsha Publications, Inc. All rights reserved.

今住へ向かうには戸毛(とうげ)の交差点を含めて3箇所の橋のどれかを渡らないと遠回りになります。今住までの間は曾我川沿いの景色を楽しみながらのんびり行って見てください。





# 今住

今住には用水と古い民家が残っています。探してみると用水が塀を潜って敷地内に流れていくところもありますよ。



**今住**  
 この界限には古い街並みがまだまだ残っています。特に保存されているわけではないので傷みのひどいところも見受けられいつまで今の様子が残っているか心配なところもあります。  
 三光丸クスリ資料館もあります。

©2002 Shobunsha Publications, Inc. All rights reserved.

0 500m

## 吉祥草寺へ

吉祥草寺から御所駅までは県道と、茶色の線で示した昔の佇まいを残した古い道(土佐街道の一部ではないかと思っているのですが)を歩くことができます。





## 御所の街並み

前頁下段とこの頁の地図で網をかけた範囲は御所の古い建物や酒造元などの建物が数多く残っている範囲です。

11月の霜月祭(そうげっさい)では土間のある古い民家の一部の公開もされます。

おばあさんが居眠りしてそうなタバコ屋さんも見つかりますよ。

櫛羅東の交差点までくればおしまい。後は赤線のコースに合流して屋敷山公園を目指します。



市内の風景あれこれ



## オプション：當麻周辺

當麻をスタートとする場合は「道の駅ふたかみパーク當麻」に車を停めることができます。この場合は石光寺や傘堂にも足を運べます。傘堂の傍にはお休み処「傘」もあります。



0 500m

## オプション：伏越コース

このコースは竹内側から登るほうが傾斜は緩いですが最後は急な下りになります。南から急な坂をのんびり登り伏越から先の下りを楽しめます。

途中の分岐から岩橋峠、岩橋山へと登れますが完全な登山コースですので覚悟して登ってください。





## モデルコース

参考までに今まで走ったコースの紹介をしてみます。

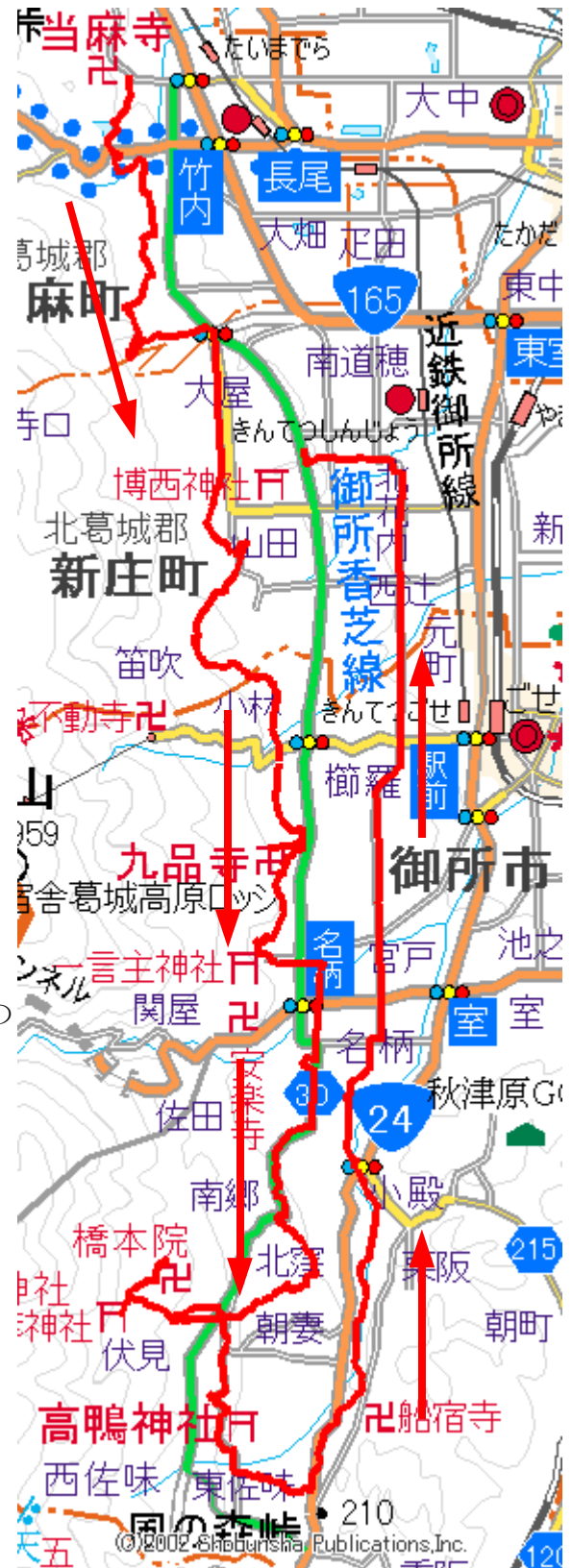
### 當麻スタート

本ガイドの赤線コースです。

當麻を出発。弥宮池からラッテたかまつへ。榎原でお昼にした後、むすひへ。高天彦神社、橋本院まで登ったあとは風調庵へ。風の森から屋敷山までは下り基調のコースで快適に走れるでしょう。

地名	距離(m)	目安時間
當麻		9:30
弥宮池	3,400	
山麓公園	3,100	
ラッテ	1,300	11:00
六地藏	1,800	
駒形大重神社	1,200	
九品寺	650	
一言主神社	1,250	
片上醤油	500	
葛城古道茶屋むすひ	150	13:00
梅本とうふ	800	
南郷	2,250	
高天下	1,400	
高天彦神社	1,250	
橋本院	750	15:00
風調庵	3,000	16:00
風の森峠	1,150	
船宿寺	1,200	
小殿	2,000	
櫛羅東	4,200	
屋敷山公園	3,400	17:30
合計	34,750	

注意点: 帰りの屋敷山から當麻までの区間を考慮していませんので車の方はこの区間を忘れずに。



## カントリーロードから食い気三昧

カントリーロードを基点に食べ歩き三昧  
実はこのコースだと登りが多少楽と言うメリットがあります。

カントリーロードからラッテへ上り。木村食品工業まで下ります。  
次に六地蔵まで登り返し、九品寺、一言主神社を經由葛上中学校ところから小殿へ抜けます。  
風の森峠まで旧道を登り、風調庵から展望コース経由で高天まで。

高天から下ってきたら南郷から一言主神社のとりいのところまで往路を戻ります。  
この後説明していないコースですが川沿いに少し下り櫛羅東から屋敷山公園まで戻ります。

時間が足りないようでしたら高天をカットし、車が多いので注意が必要ですが県道を下るといいでしょう。

地名	距離(m)	目安時間
カントリーロード		9:30
ラッテ	1,700	10:30
木村食品工業	2,600	11:30
六地蔵	1,000	
駒形大重神社	1,200	
九品寺	650	
一言主神社	1,250	13:00
片上醤油	500	
葛城古道茶屋むすひ	150	
梅本とうふ	800	
小殿	1,200	
風の森峠	3,200	14:00
展望コース経由		
高天彦神社	3,600	
橋本院	750	15:30
南郷	3,000	
一言主神社鳥居	2,750	
櫛羅東	2,400	
屋敷山公園	3,400	17:00
合計	30,150	



## 東佐味お気楽コース

このコースは登りをできるだけ抑えたコースです。  
カントリーロードからラッテへ。九品寺、一言主神社を經由して僧堂から登ります。  
その後は高鴨神社から東佐味へ抜け重坂、薬水、吉野口から今住、御所市内を抜けて屋敷山公園へ戻ります。

このコースは重坂まで出てしまえばあとはアップダウンがほとんどありません。

すみません、このコースは未実走ですので時間はあてになりませんが、登坂が少ないため距離の割には時間は短くなると思います。

地名	距離(m)	目安時間
カントリーロード		9:30
ラッテ	1,700	
六地蔵	1,800	
駒形大重神社	1,200	
九品寺	650	
一言主神社	1,250	13:00
片上醤油	500	
葛城古道茶屋むすひ	150	
梅本とうふ	800	
僧堂	3,200	
高鴨神社	2,150	14:00
東佐味	1,400	
吉野口	5,500	
今住	3,250	15:00
御所駅前	4,900	
櫛羅東	750	
屋敷山公園	3,400	16:00
合計	32,600	





## 関連情報

ラッテたかまつ	〒639-2134 奈良県葛城市山口 278-3	TEL:0745-62-3953 FAX:0745-62-4010
	<a href="http://www9.ocn.ne.jp/~latte/">http://www9.ocn.ne.jp/~latte/</a>	yume.latte@joy.ocn.ne.jp
カントリーロード	〒639-2124 奈良県葛城市脇田 54-4	TEL:0745-63-0699
木村食品工業	〒639-2312 御所市櫛羅? (すみません。情報得られませんでした)	
片上醤油	〒639-2318 奈良県御所市森脇 329	TEL:0745-66-0033 FAX:0745-66-1933
	<a href="http://www.asm.ne.jp/~soy/">http://www.asm.ne.jp/~soy/</a>	soy@asm.ne.jp
葛城古道茶屋むすひ	〒639-2317 奈良県御所市豊田 422	TEL:090-1243-5290
	<a href="http://katuragikodou.com/">http://katuragikodou.com/</a>	musuhi@katuragikodou.com
風調庵	〒639-2343 奈良県御所市鴨神	TEL:0745-66-1382 FAX: 同上
	<a href="http://www.tosp.co.jp/i.asp?i=fuutyouan">http://www.tosp.co.jp/i.asp?i=fuutyouan</a>	

## 難読地名

御所付近には読みにくい地名が多くあります。その中から目に付きそうなものをいくつか紹介しておきます。

櫛羅 (くじら)、檜原 (ならばら)、名柄 (ながら)、船路 (ふなじ)、五百家 (いっか)、重坂 (へいさか)、奉膳 (ぶんぜん)、戸毛 (とうげ)、蛇穴 (さらぎ)

## あとがき

御所に住み始めて12年、葛城山麓に気がつき写真を撮りだして11年になりました。葛城古道を自転車で回るようになって何年になったでしょう。

気がつけば亀ポタと呼んで親しんでくれる仲間たちも増えていました。毎回同じようなコースでも飽きずに来てくれる仲間たち。今度はどこを引きずり、いや連れて行こうと悩むことばかりです。

遠くに住んでいる方、気恥ずかしさからなかなか声を掛けていただけない方の手助けになれば、と思い書き綴ってみたものの中々終わりは見えてきません。まだまだ不十分な内容とは思いますが少しでも多くの方の参考になればと思っています。

これからも雰囲気の良い所、面白い道を探しこのガイドの中身をよりいっそう充実させていけたらと思っています。

最後に いつも一緒に遊んでくれる多くの仲間たち、騒々しい私たちを迎えてくれるラッテたかまつさん、カントリーロードさん、木村食品工業さん、片上醤油さん、葛城古道茶屋むすひさん、風調庵さん、沿道の多くの方々、そして不出来な原稿の校正に協力いただいた方々に深く感謝いたします。

いつかこのガイドを手にした方と葛城山麓で出会えるのを夢見て...

2005年 7月

輪童





著者

**輪 童**

ホームページ : <http://camepota.bne.jp> ( 輪童の自転車散歩 )

メールアドレス : [rindoh@camepota.net](mailto:rindoh@camepota.net)

葛城山麓 亀ポタ ガイド

---

2005 年 7 月 25 日      第一版  
2005 年 11 月 4 日      改訂



今日は幾つ、いつもと違った景色に  
出会えましたか？

次に来た時にも、また新しい発見が  
ありますように. . .

